七番
へ13
4328
4

N13
4328
4

〈2002-236〉

厚化粧

第年

嵩田

七編

上

春水著

國貞画

戯場でも時代物は。實がありて面白し。然れども幕毎に義太夫が這入りて泣せられては。又看官は疎ぜるべし。仍て二番目狂言ゆは。爰くは世話場をこまる支。這も又作者の腹ゐくん。草双紙迚も是は存じ〳〵。世話と時代を一場づゝ間てことを綴る式にて目先の替る支もいのまど。本傳阿百がうを編は。世話は落さで扱いぎる。條の〳〵續はるん。浮世めいたてゝ見るべけれども。怜らの薄き物語と又は替りと七編と筆は盛付置く支きのり

庚午孟春吉旦

爲永春水記

盗賊の首領
荒井彦四郎
衣笠
主膳の
息子
同
当
水馬
草賊
飛渡太
担

茂一郎
総角結早苗

天神のつゞき

茶
福
宝
吉
福

二
新
得

郎夢尚料理
比良青

序御料理
比良清

水家
實母散
さんぜんさんどやんちのくすり一切の婦人
中橋南傳馬町二丁目東ゝ
千葉堂孝輔製

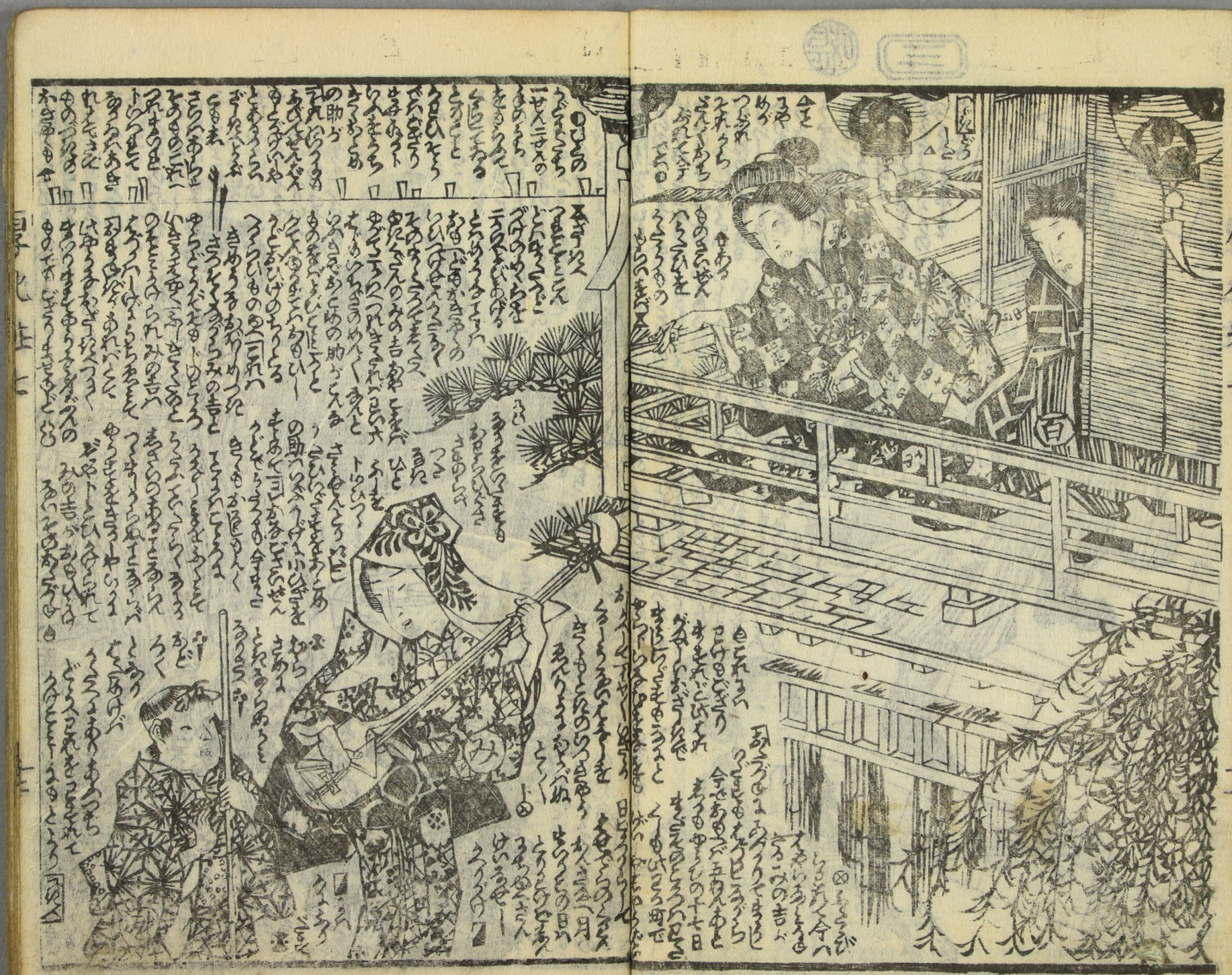
柳蔭月朝妻

四編より 山々亭有人作
九編迄 梅朝樓國貞画

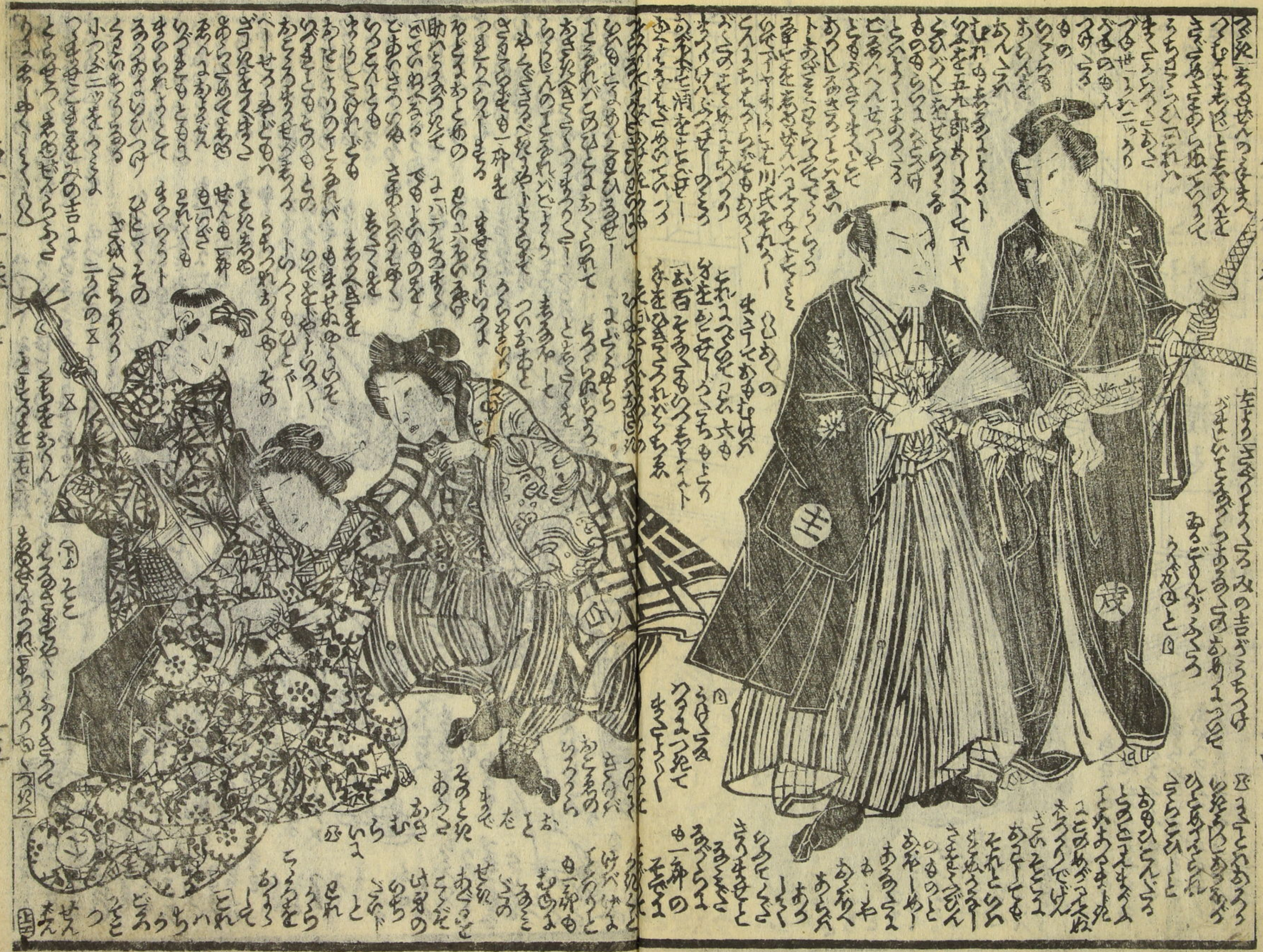
藪黄鶏八幡不知

山々亭有人作
錦朝樓芳国画

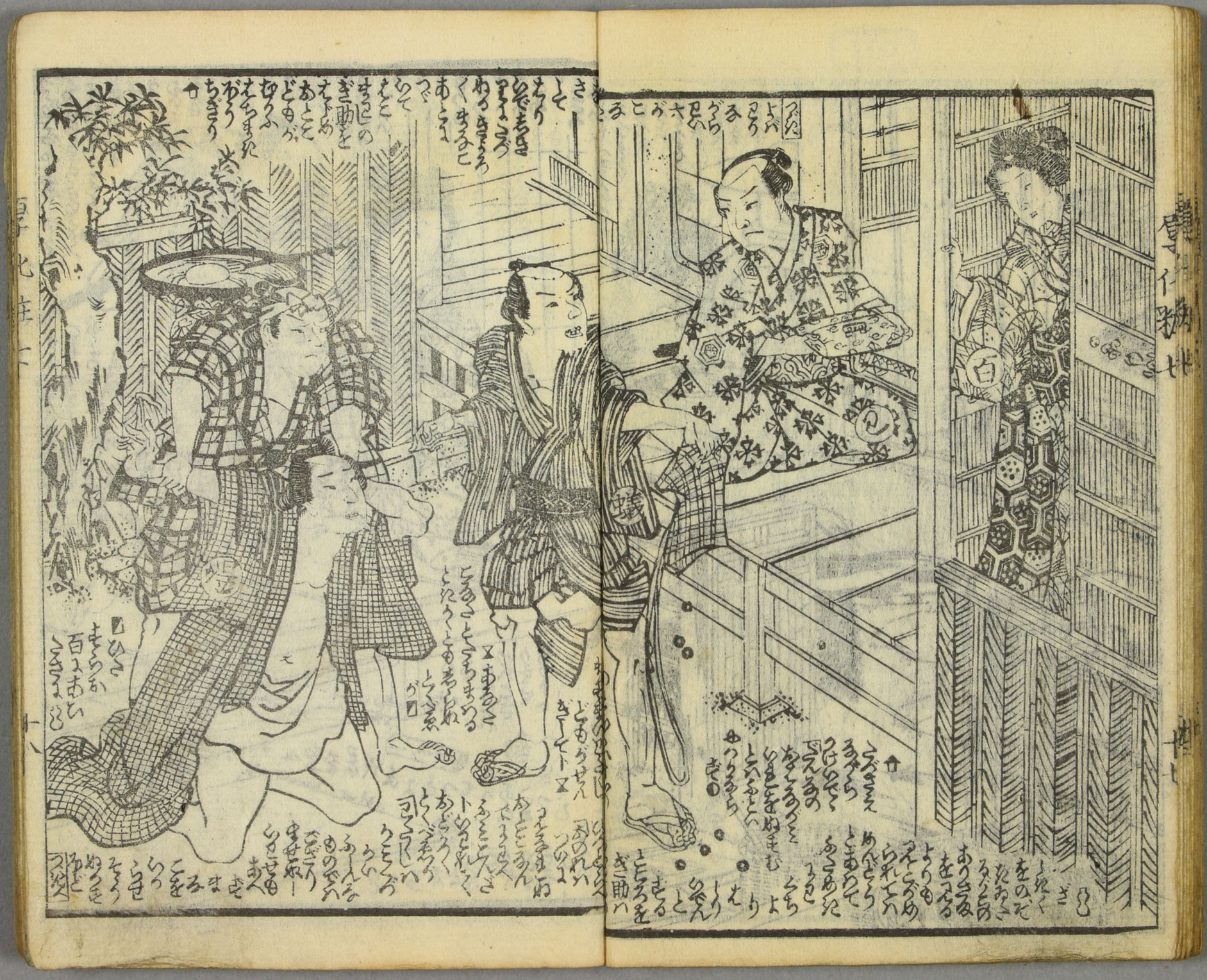
當春賣出し所の柳蔭月の朝妻殊の外御機嫌よ恢ひ製本手廻らず売捌は段外聞旁難有仕合奉存候夫より御禮を當年は彼時頼禅門諸國を經歴在る事を鐘ヶ淵の深く意ねへ幡の藪の奥を探り可笑綴為一作者重ねて更るも言ず彫摺等念を入初編より六七編迄無相違出板仕る旨是亦橋のかげ同樓ひいきの愛顧を望玉ひ度奉存候

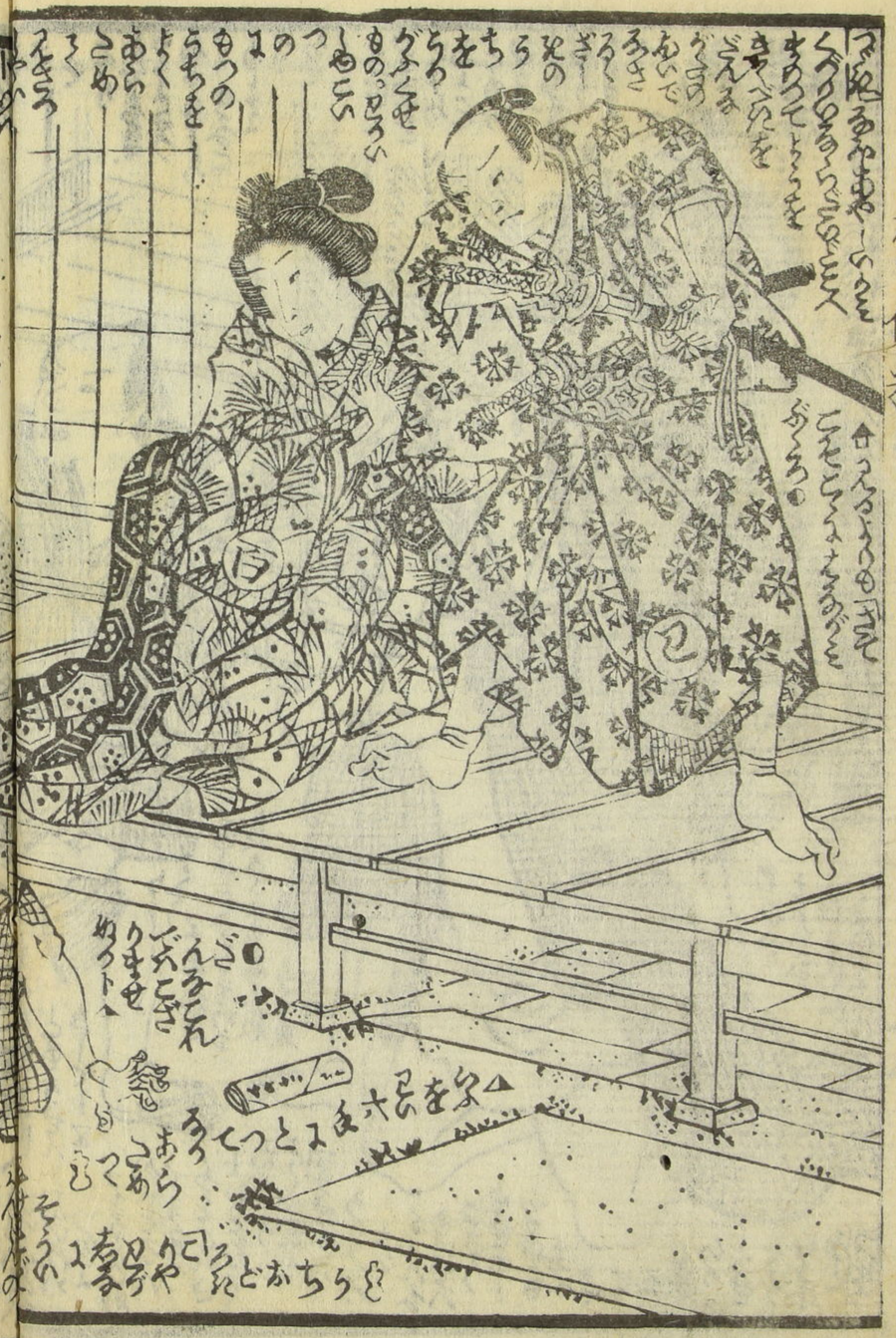


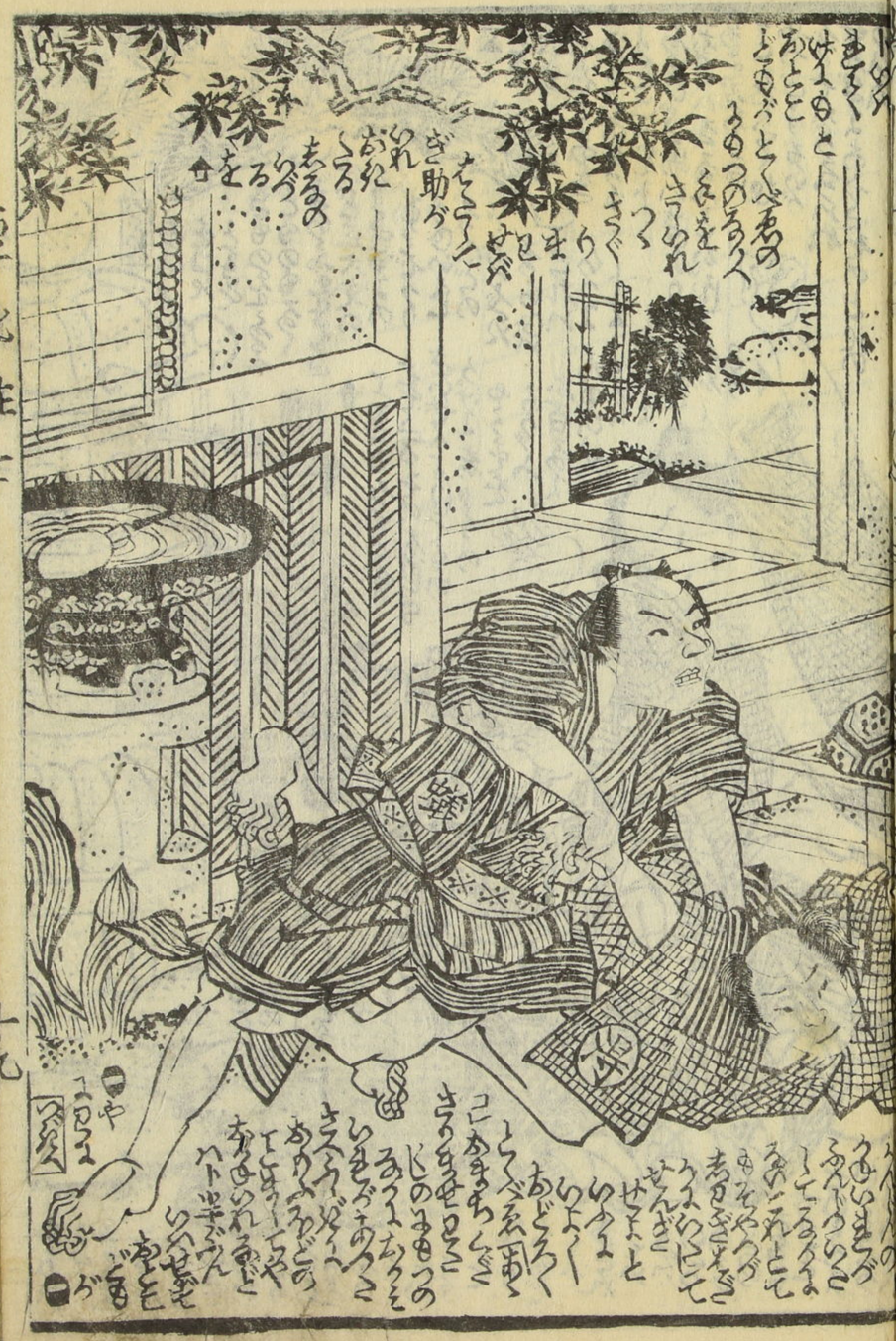
這画ハ已之吉ゞ
昔がら我摸を



蟹







明治四年辛未陽春開板標目

厚化粧萬年嶋田 八編 十九編 春水作 國貞画

室町源氏胡蝶卷 十九編 二十編 二十一編 二十二編 種彦作 國貞画

鼠祠通夜譚 八編 九編 種彦作 國貞画

童謡妙々車 廿四編 廿五編 種彦作 國貞画

薄倖幼日記 二十編 二十一編 春水作 國貞画

十編ぎ日葛飾譚 十一編 十二編 種彦作 國貞画

新局九尾傳 十二編 十三編 十四編 春水作 國貞画

筆海四國聞書 十三編 十四編 種彦作 國貞画

明鴉墨画迦禍福 十六編 十七編 種彦作 國貞画

花封茗玉章 十編 大尾 種彦作 國貞画

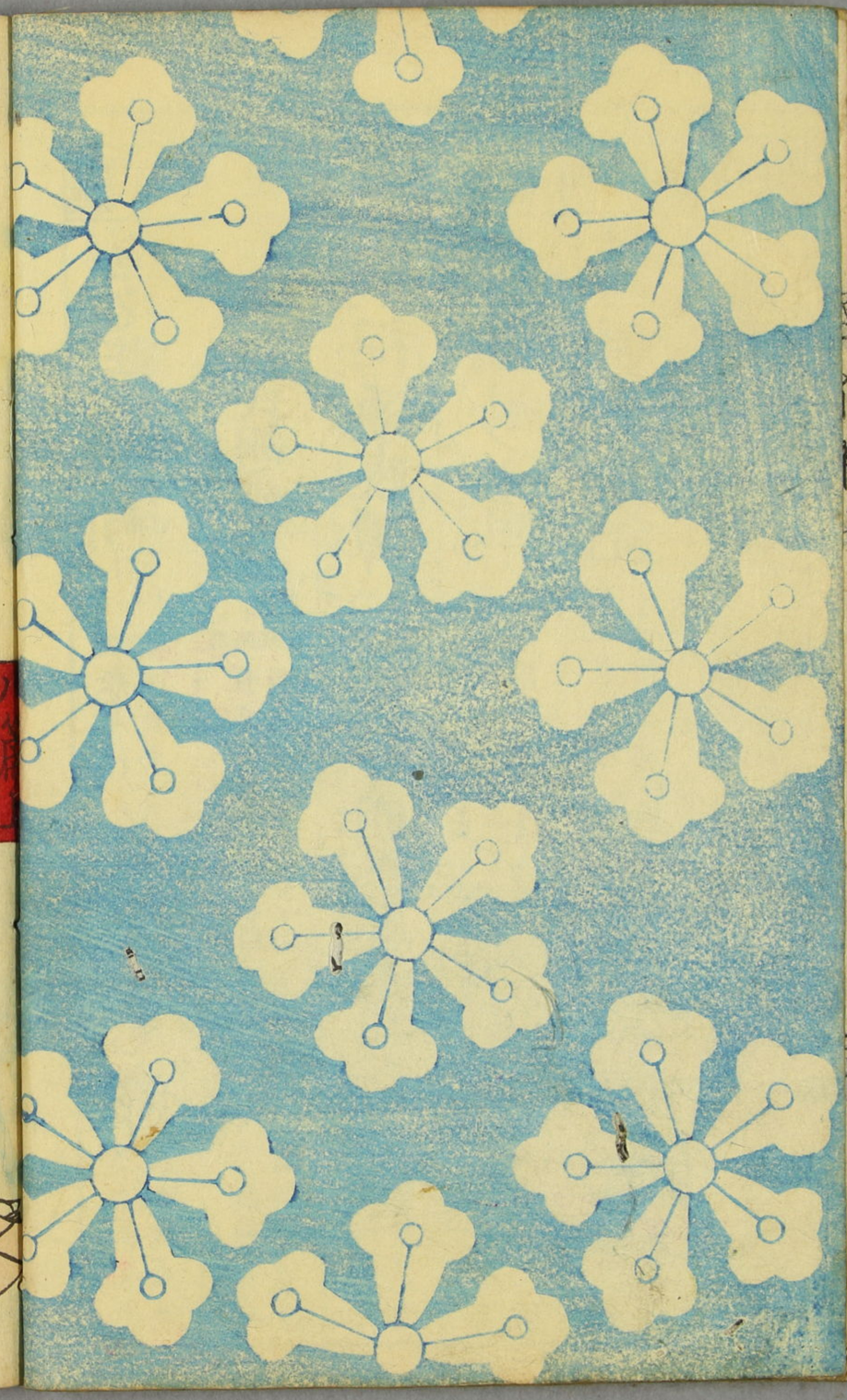
八犬傳犬の双紙 廿四編 廿五編 柳亭作 國政画

南傳馬町壹丁目 蔦屋吉藏板

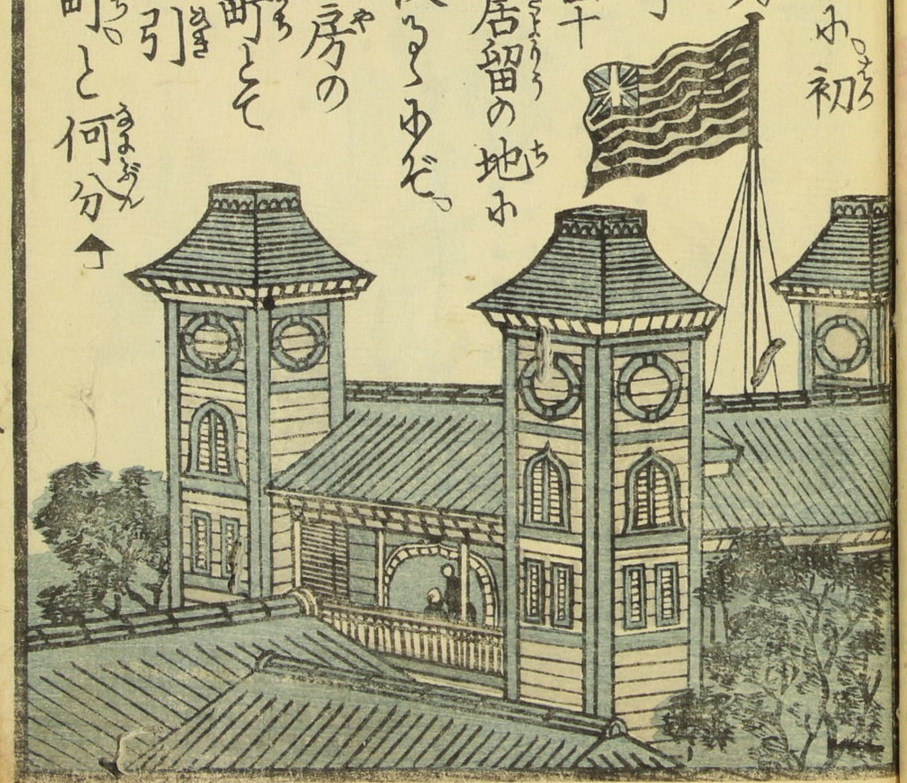
厚化粧

美年

豊国

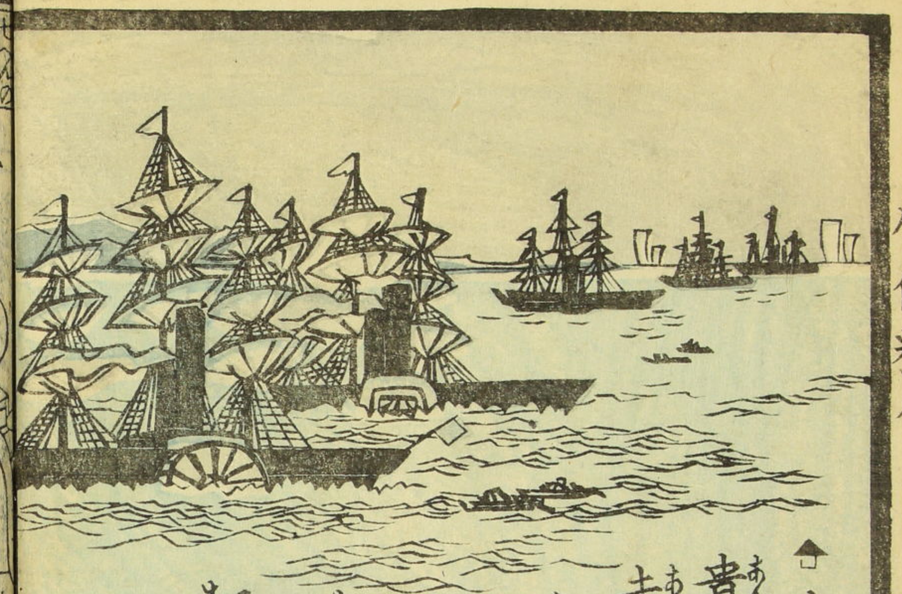


いめる春此万年嶋田わ。初元結をもむすび〜〜まり。綴り合せるいろは文字ゐ因やあり けん這冬ハ四十七字の神奈川なる異人居留の地わ遊び。次編の草稿後るゝゆゑ。馬車で乗来る書房の口上。他の承用ゞ太田町とそ辨天小路べん〜〜と。引ぢ〜〜まとてるよ〜〜田町。と何分



毒婦
阿百

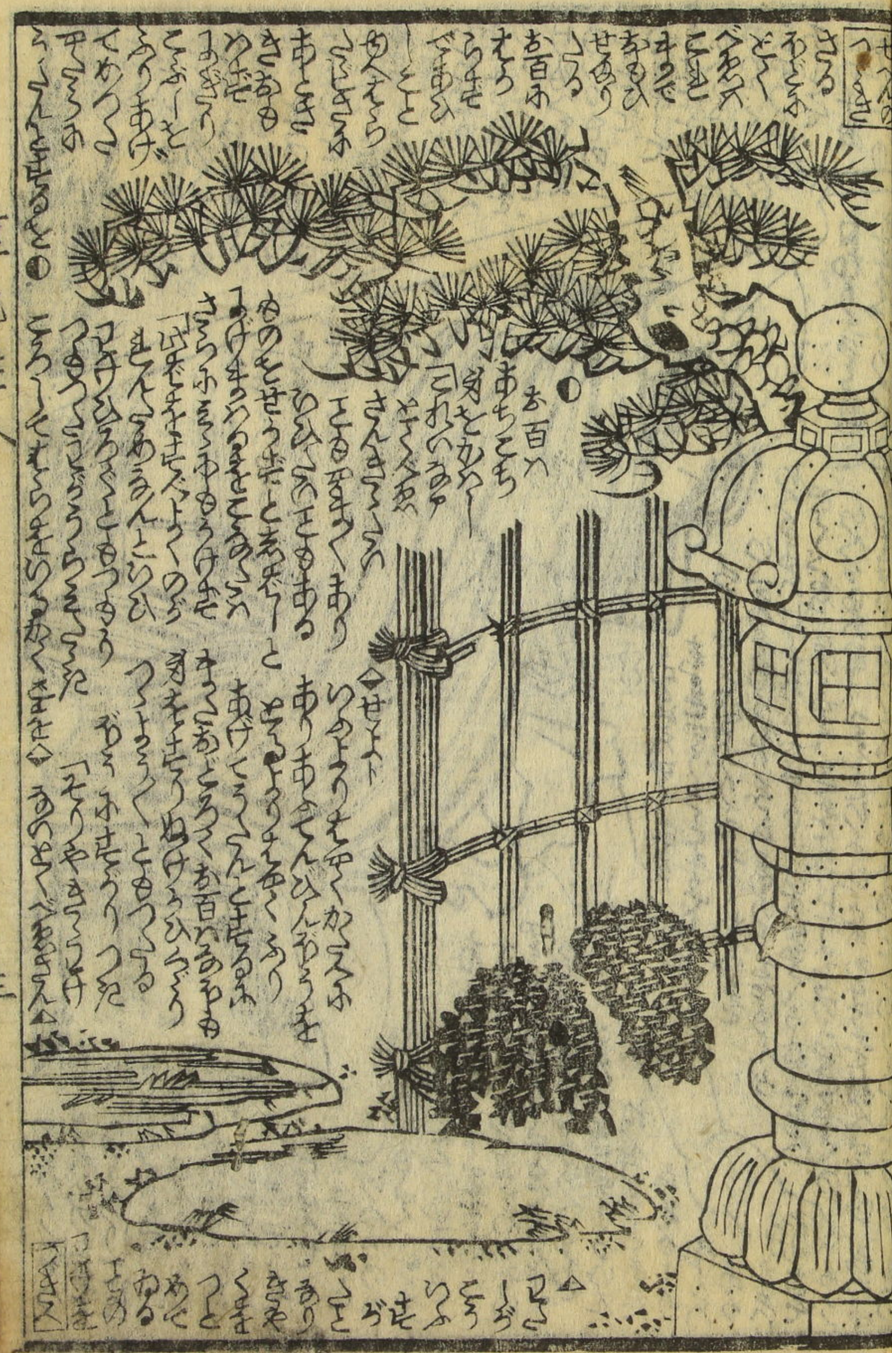
名屋
得兵衛



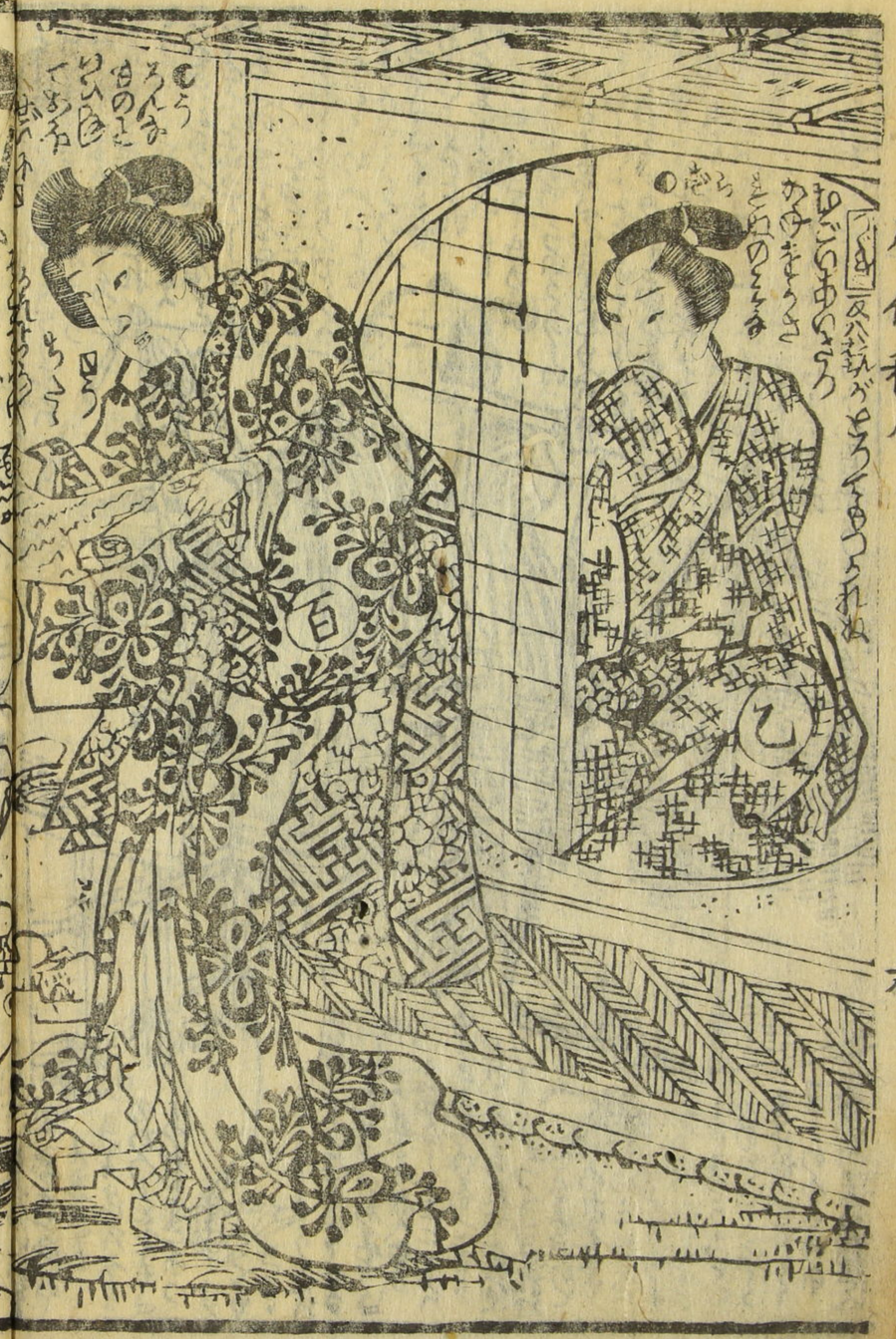
待つて居らるゝ。是非とも。貴公お早う。と言はるゝ流石の赤らゝ。作者の面のかゝ蒸氣。車徑も廻らぬ禿筆。看官うゝ。ペケ〳〵とお叱り受ぬその先ゆゝと。又厚化粧の厚うゝ〳〵る。第八編もものせふこと。

庚午冬稿成　為永春水誌

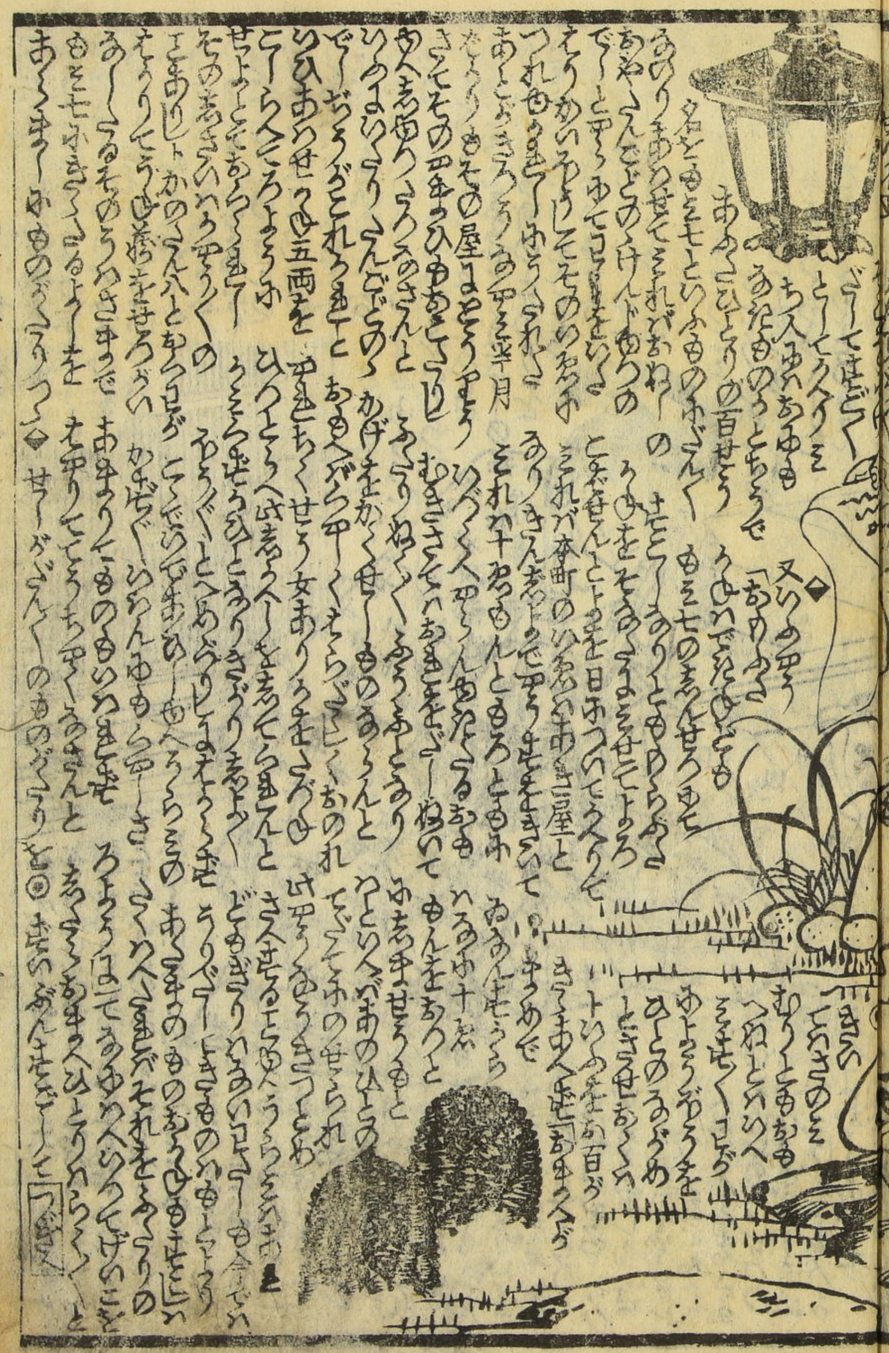
辛未春發兌



得
白



又八さんがとうてもつられぬ
おごりあのさうろ
かみきりさ
とのとこ



◆ 又八のあつ
「あり」さ
うみいだしたひとこと
もとこの七のあんせろ
ともひらあさ
ひとこのみのうめ
ときさせあくい
ハトいつをとあ百ゲ
きてまへんせあまくうぐ

◆ ざーてはごーく
とうてとうくりこ
ちえ入あいあゆも
あるなものうとちうで
あるこひとりの百せう
名をもとモといふものわざんく
あのりまわせてこれがおわーの
あやさんどどのけんがあつの
でーとやうゆてコりをいく
そうかいやうしてそものあるホ
つれもうもてーゆうくれいく
あーとぶさろうのやこ平月
たうりもそのの屋はとうやまう
さそもの四年ひあもてこ巳
あへあ四ろくろくのさんと
いのよいろりうんどどの
でーだろうがこれろまてと
いひあいせうひ五両を
ーらくころようホ
せよようとそあらくまて
そのあさいいろやうくの
こまりしトかのくんハとあいロが
もうりとうひあちをまろがい
あーくるそのろいさまで
もとセかきくるよーを
あくまーゆものくろうつ

◆ せーがさんくーのものくろうりと◎ ぎいぶんせさーこ

實母散
中橋南傳馬町一丁目東ハ
藤堂孝輔製

柳蔭月朝妻

四編より 山々亭有人作
九編迄 梅朝樓國貞画

藪黄鶯八幡不知

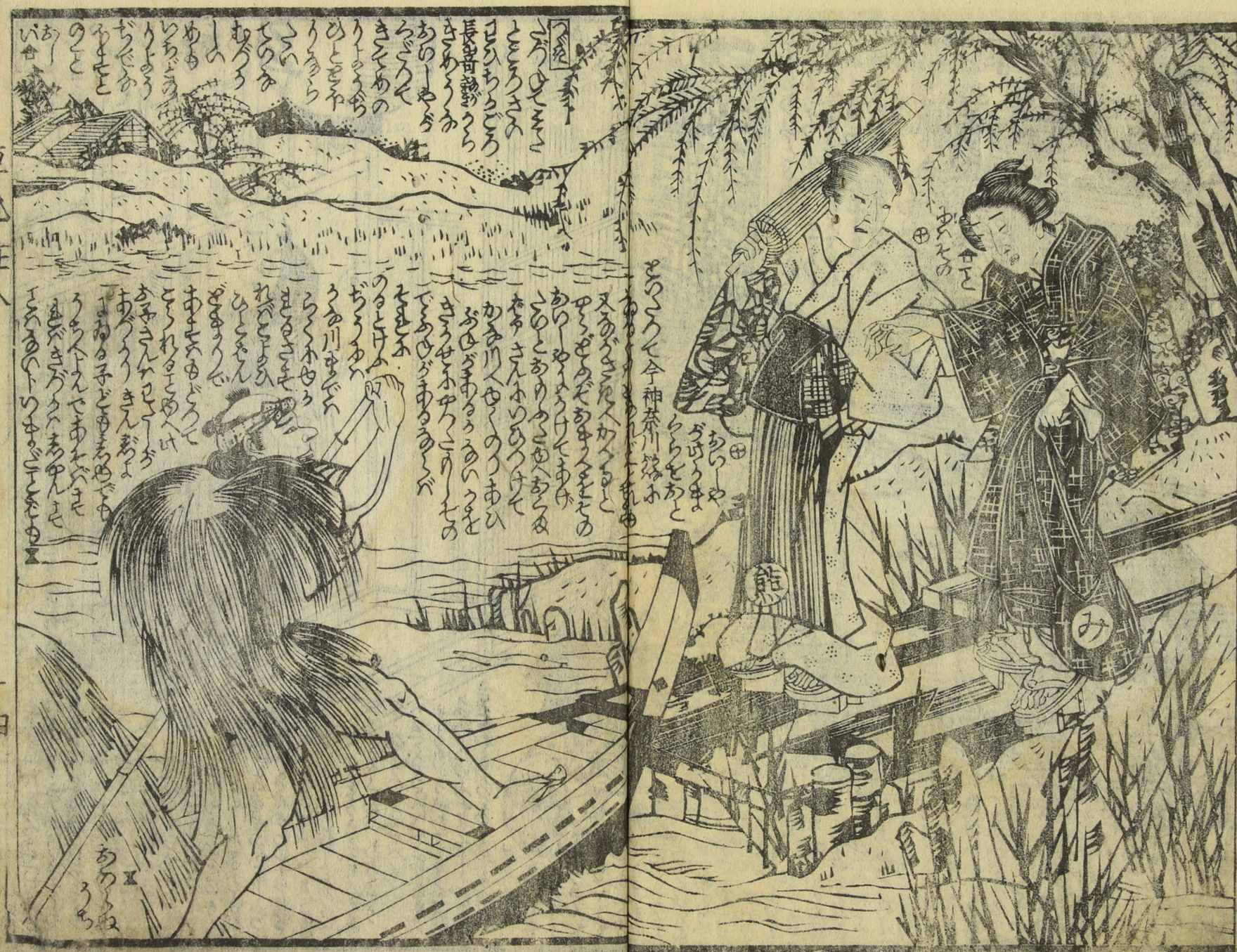
山々亭有人作
錦朝樓芳虎画

春
如
仙
國貞
画
八篇下

三
能
次へ

天保年間

厚仕粉八
草花主人
熊
み
日
百



蛾
百
越
む

用氷

得
みのや

明治四年辛未陽春開板標目

厚化粧萬字鳴田　八編　春水作　十九編　國貞画
新局九尾傳　十二編　春水作　十三編　十四編　國貞画
室町源氏胡蝶卷　十九編　二十編　二十一編　種彦作　國貞画
筆海四國聞書　十三編　種彦作　十四編　國貞画
鼠祠通夜譚　八編　種彦作　九編　國貞画
明鴉堂画廊福　十六編　種彦作　十七編　國貞画
童謡妙々車　廿四編　種彦作　廿五編　國貞画
花封菩玉章　十編　種彦作　大尾　國貞画
薄傳幼日記　二十編　春水作　二十一編　國貞画
八犬傳犬の双紙　五十四編　柳亭作　五十五編　國貞画
[illegible]葛飾譚　十一編　種彦作　十二編　國貞画

南傳馬町壹丁目
蔦屋吉藏板